

学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 12月号②

令和5年12月22日

校長 大越 敏孝

たくさんの方々に支えられながら ～『創立記念のつどい』～

令和5（2023）年も残りわずかとなりました。今年の干支は卯。うさぎが跳ねるように、飛躍、向上の年となったでしょうか。

学校では、様々な行事で盛りだくさんの師走となりました。本物に触れることで得られる学びや感動がたくさんありました。また、汐見台小学校をさまざまな形で支えてくださっている方々への感謝の気持ちを改めて大切にしていきたいと感じる行事もありました。

12月14日（木）に開催された「創立記念のつどい」では、初代校長の橋本先生をはじめ、野上先生や松下先生の汐見台小学校への想いのこもったお話や、校歌を作ってくくださったアクアマリンのミマスさんとサチコさんのすてきなお話と歌を聴くことができました。1～6年生が声をあわせて歌った校歌は、みんなの気持ちが一つになった本当に素晴らしいものでした。そして、6年生実行委員の楽しいクイズもこのつどいを盛り上げてくれました。みんなで汐見台小学校の創立12周年をお祝いできたことは、子どもたちの心に残るものになったのではないかと思います。

この創立記念事業を実施するにあたり、これまでご支援をいただいたPTAの皆様、子どもたちのことをいつも見守っていただいている地域の皆様に、心より感謝申し上げます。今後とも汐見台小学校をどうぞよろしくお願いいたします。

*児童の皆さんには創立記念のクリアフォルダーと家庭数で学校上空から撮影した人文字と地域の写真をPTAより配付させていただきました。ありがとうございました。



4年生「第66回 茅ヶ崎寒川地区小学校音楽会」12月1日(金)

コロナ禍により中止となっていた茅ヶ崎寒川地区の小学校音楽会が3年ぶりに開催され、汐見台小学校の代表として、4年生51名が出場しました。披露した曲は「レッツ・テイク・ア・チャンス」。練習の過程では、作詞・作曲者である西澤健治先生にご指導もいただきました。

出場校の中では最も少ない人数での参加でしたが、音楽会当日は、元気のよいのびのびとした歌声が大ホールいっぱいに広がり、他校も聴る素晴らしい合唱でした。曲のエンディングには、「しおみだい！Go！」とポーズを決める演出もあり、会場から大きな拍手をいただきました。

歌い終えた子どもたちの「楽しかった～」という笑顔がすてきでした。学校への帰り道でも歌声が聞こえました。子どもたちの心の中に、みんなで一つのことを成し遂げた充実感が感じられる音楽会になりました。



3年生「茅ヶ崎市博物館・清水農園見学」12月7日(木)

社会科見学で昨年度オープンした茅ヶ崎市博物館に出かけました。学芸員の皆さんの丁寧な説明で、茅ヶ崎市の地勢や歴史について実物を見たり触れたりしながら学びました。昼食後は、萩園の清水農園の見学をさせていただきました。カブやネギ、ニンジンの広い畑を見せていただいたり、給食に出てきたトルコナスの話や、栽培の工夫などの苦労話もたくさん伺うことができました。本校では、清水さんに10年ほど前から毎年のように農園を見学させていただき、ご指導をいただいています。帰りには畑から採れたてのダイコンを一人に一本ずついただきました。子どもたちのために本当にありがとうございました。

5年生「八景島シーパラダイス・日産追浜工場」12月12日(火)

八景島シーパラダイスはグループ行動で見学。たくさんのお魚がいる大水槽では、ゆっくりと泳ぐ大きなエイやスイミーを思わせるイワシの群れにびっくり。イルカのショーもゆっくり観覧できて、水族館を堪能しました。午後からは、日産自動車追浜工場に移動。さまざまな車の展示や最先端の技術にふれました。これからの自動車づくりは、どのように変わっていくのかじっくり話を聞くこともできました。目の前で本物の車が組み立てられていく様子や検査工程は迫力がありませんでした。



令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について



令和5年4月18日（火）に6年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の本校の結果概要についてお知らせします。

今回の調査内容は、「国語」「算数」の教科調査と学校や家庭での過ごし方や様々な活動への意欲等を調査する「児童質問紙」による質問紙調査でした。本調査から得られた結果は、児童の学習や生活の状況のすべてを表すものではありませんが、調査から得られた実態や傾向を踏まえ、教員の授業力向上を図るとともに日々の教育活動に生かしてまいります。

なお、6年生には、すでに各自の結果を配付しています。

【国語】

○全国とほぼ同様の正答傾向が見られます。

- ・「文章の種類とその特徴について理解すること」「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること」についての問題で高い正答率を示していました。「必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えること」で力を発揮する児童も多く見られました。
- ・「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」「文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめること」など文章で表現することに課題が見られました。また、「日常よく使われる敬語を理解している（おっしゃった・うかがう）」に課題が見られました。
- ・「漢字を文の中で正しく使うこと（ひらがなを漢字に直す：意外・期間）」には、課題も見られましたが、「送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うこと（ひらがなを漢字と送り仮名に直す：比べる）」には、高い正答率を示していました。

*国語の授業の内容がよく分かると答える児童が8割を超えています。「聞くこと・話すこと」においては、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめようとしている児童が多くなってきています。「読むこと・書くこと」においては、目的に応じて必要な情報を見つけたり、情報を関係づけて整理したりして、理解したことを基に自分の考えをまとめることができるようにするとともに、その考えが伝わるように文章等で表現することができるように指導していきます。

【算数】

○全国とほぼ同様の正答傾向が見られます。

- ・「百分率で表された割合について理解している」「正三角形の意味や性質について理解している」など、知識・技能の領域で全国の正答率を5ポイント以上上回っています。「伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めること」「“以上”の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ること」など、知識・技能の領域で力を発揮する児童も多く見られます。
- ・「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する」「伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述する」などに課題が見られました。

*児童は、「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つ」と思っており、普段の生活の中で活用できないか考えようとしています。課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだり、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしようとする姿が見られます。本校では、算数科を通して、自分の考えをもち表現できる子どもの育成に取り組んでいる成果が少しずつ表れてきているように思われます。しかし、今回の結果からは、自分の考えを言葉や式を用いて記述することには、課題も見られました。自分の考えを文章等で表現できるように、さらに指導を充実させていきます。

【児童質問紙】

児童質問紙調査による本校児童の傾向は、次の通りです。

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| ◎ 肯定的な回答の割合が80%以上のもの | ☆印は、肯定的な回答の割合が90%以上のもの |
| ○ 肯定的な回答の割合が50%以上80%未満のもの | ☆印は、肯定的な回答が顕著に増えているもの |
| △ 肯定的な回答の割合が50%未満のもの | |

(1) 家庭生活の状況や地域に関すること

- ◎ 朝食を毎日食べている。
- ◎ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- ◎ 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- ☆○ 読書が好き（77ポイント）
 - △ 学校の授業時間以外に、平日、30分以上読書をしている。
 - 家で自分で計画を立てて勉強をしている。
 - △ 学校の授業時間以外に、平日、1時間以上勉強している。
- ☆○ 地域の行事に参加している。（コロナ禍であった前年度比+18ポイント）
- ☆○ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。（前年度比+30ポイント）
 - ◎ 外国の人と友達になったり、外国のことをもっと知りたい。
 - ◎ 日本や自分の住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたい。

(2) 学校生活に関すること

- ◎ 学校に行くのが楽しい。
- ◎ 自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- ◎ 友達関係に満足している。
- ◎ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人に相談できる。
- ◎ 人が困っているときは、進んで助けている。
- 学級生活をよりよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- 学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。
- ◎ 先生は、自分のよいところを認めてくれている。
- ◎ 先生は、間違えたところや理解していないところを、分かるまで教えてくれている。

(3) 学習や教科に関すること

- ◎ 授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。
- ◎ 自分の考えがうまく伝わるよう、（資料や文章、話の組み立てなどを）工夫して発表した。
- ◎ 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ。
- ☆◎ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
- ☆◎ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。
 - ◎ 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている。
- ☆○ 国語の勉強が好きである。
 - ◎ 国語の勉強は大切だと思う。
 - ◎ 国語の授業の内容はよく分かる。
- ☆◎ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う。
 - 算数の勉強が好きである。
 - ◎ 算数の勉強は大切だと思う。
 - ◎ 算数の授業の内容はよく分かる。
- ☆◎ 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う。
 - ◎ 英語の勉強が好きである。
- ☆◎ 英語の勉強は大切だと思う。
 - 将来、英語を使うような生活をしたり、職業に就いたりしたいと思う。（全国比+13ポイント）

(4) 自己肯定感・規範意識・将来に関すること

- ◎ 自分には、よいところがあると思っている。
- ◎ 人が困っているときには、進んで助けている。
- ◎ 人の役に立つ人間になりたいと思っている。
- ☆◎ 将来の夢や目標を持っている。
- ☆◎ 幸せな気分になることがある。

*本調査により測定できるのは、学校の教育活動等の一側面に過ぎないことから、本校の取組の成果や課題をすべて映し出しているものではありません。児童のよいところは伸ばし、課題については改善に向けて全教職員で児童の指導にあたってまいります。今後とも保護者や地域の皆様方のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。